

平成25年度県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業

「留学生の帰国報告会」

平成26年2月7日（金）

本事業の一環として、1、2年生の希望者を対象に実施しました。1年1組宗本福德君がAFSを通じて平成25年2月から約11ヶ月に渡り南米チリの高校にホームステイしながら留学し先月帰国しました。その体験談を聞くことで外国事情や留学生活について知り、今後グローバルな世界で生きていく高校生たちが留学制度や国際親善についての考えを深めてくれることを目的として開催しました。

当日はAFSから岐阜支部の坪井支部長さん、成田さんにもお越しいたごき、AFSという組織や高校生留学のメリットなどについてお話いただきました。その後宗本君に数多くのスライドを使いながら、留学の苦勞、ホストファミリーの心の温かさ、チリの人たちの陽気で異質なものを受け入れる心の広さなどを熱く語っていただきました。また、インターネットを通して時差12時間あるチリのホストファミリーと直接音声と映像で交流する機会も作ってくれました。参加者は地球の裏側の人と直接コミュニケーションをとることによってまさに世界がグローバル化していることを肌で実感しました。約30人の参加者（生徒・教員）との活発な質疑応答もあり、大変有意義な会になりました。これを機会に留学に興味を持つ生徒が増え、ひとりでも多くの生徒が海外に飛び立ってくれることを望みます。

AFS 岐阜支部の坪井支部長さんのご説明



Skype を使ってホストファミリーと交流

スライドを使って熱く語る宗本君



留学先の高校の制服を着て



<AFS 日本協会のホームページより抜粋>

AFS は世界大戦中に傷病兵の救護輸送に携わったアメリカのボランティア組織 American Field Service（アメリカ野戦奉仕団）の活動を起源に持ちます。（公財）AFS 日本協会は、特定の政治・宗教に偏らない非営利組織です。日本での AFS 活動は、1954 年に初めて 8 人の留学生をアメリカに派遣して以来、現在まで留学・国際交流の活動を進めてきました。現在では日本全国 74 の支部で留学生の受け入れ、派遣、各種交流活動を行っています。AFS は、世界的な広がりを持つ組織です。国際本部をニューヨークに置き、現在、AFS の加盟国は 50 か国以上、交流国は約 100 か国に及びます。AFS で留学できる国は多彩で、留学先でも他の国々からの留学生との交流が盛んです。英語圏に偏らず、より世界規模の国際交流を目指して活動しています。



